

# ～文化ホールを時代を超えて使うには～

スケジュール **市民参加型講座:建築の再生活用を市民と考えるVol.2**

開会18:00 ～ シンポジウム～ 一般参加シンポジウム ～ 閉会20:00

(建築家が、質問、疑問に答えます)

今年、岡山市民会館(設計:佐藤武夫1963)が開館60年になります。岡山市では新ホール建設に伴い、岡山市民会館が閉館となります。全国では街の文化的、歴史的価値の見直しにより近代建築の再生活用の事例が多くみられるようになりましたが閉館、解体という事例も多数あり、近代建築の危機とも言える状況です。市民会館や体育館はその用途の役割を終える状況になった場合、その計画上、用途の変更は困難と言われておりますが、旧八幡市民会館(設計:村野藤吾1958)のコンバージョン計画から北九州市立埋蔵文化財センター移転改修工事の設計担当された宮本佳明氏を迎え、その魅力についてお聞きし、現存する岡山市民会館の保存の可能性を提案し現存するホール建築に新たな価値を模索する起点の一つとなればと思っております。

街にいろいろな時代の建物が  
あったほうが魅力的  
変わらない風景があると落ち着く

地震とかは大丈夫なの?  
古くなっても使えるの?  
カーボンニュートラル的には既存活用では?

この街が好きならもっと、向き合うべき  
インバウンドは日本の面白いものを  
見にくるんだよね

建物は私達のもの。記憶装置  
巨匠の建築を簡単に壊して問題ない?  
用途を変えられるの?

岡山市民会館ってデザインが面白い  
岡山市民会館の周辺は文化的な地域

ホールは音響が大切  
明らかに耐震性が悪いわけではない?

日時 2023年10月26日(木)  
18:00～20:00受付17:30～

会場 天神山文化プラザ大ホール  
(岡山市北区天神町8-54)

定員 ホール座席定員まで270名  
入場無料

予約なしでも入場出来ますが、事前予約  
の方を優先させていただきます。事前予約では  
名前(カナ)、住所、電話番号、CPD登録の  
方はCPD番号を記入し、下記の連絡先に  
申し込み下さい。(10/17締切)



主催・お問い合わせ  
(公社)日本建築家協会 中国支部

E-MAIL: chugk@jia.or.jp

FAX: 082-222-8755

TEL: 082-222-8810

CPD2単位申請中



路面電車: 岡山駅前[東山行き]→[城下駅]  
→徒歩5分  
※運賃、時刻表は、岡山電気軌道株式会社  
のHPを御覧ください。  
車: 岡山ICから約20分  
※駐車場はお近くの有料駐車場をご利用  
下さい。  
※ 参加申込で取得した個人情報は、本  
行事目的以外では一切使用しません。

講師: 宮本佳明(建築家)

1984年東京大学工学部建築学科卒業。1987年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。博士(工学)。

大阪芸術大学助教授、大阪市立大学大学院教授等を経て2021年より早稲田大学教授。代表作として「ゼンカイ」ハウス(日本建築家協会新人賞)第6回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展(金獅子賞)。「クローバーハウス」(日本建築家協会賞)。

コーディネーター: 笠原一人(建築史家)

1970年兵庫県生まれ。京都工芸繊維大学助教。京都モダン建築祭実行委員長。神戸モダン建築祭実行委員。専攻は近代建築史、建築保存再生論。(一社)リビングヘリテージデザイン理事。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。博士(学術)。著書に『ダッチ・リノベーション』『村野藤吾のリノベーション』『建築家 浦辺鎮太郎の仕事』『建築と都市の保存再生デザイン』『関西のモダンイズム建築』ほか。

後援:(一社)日本建築学会中国支部、(公社)日本建築積算協会中国四国支部、(一社)日本建築構造技術者協会中国支部  
(一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、岡山建築設計クラブ、(一社)DOCOMOMO JAPAN

北九州市八幡市民会館

